

第3回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成24年11月1日(木) 18:30～21:00

場所：市民活動センター

日程

1. 開会
2. 平成24年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. その他
4. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇京子 門脇紀文
土井哲雄 徳尾勝 浜田照美 松本幸永 水田浩司 渡部敏樹

<開会>

（地域振興課長）

本日は雨の降るなかご参集いただきありがとうございました。

早速ですが市民活動推進補助金の審査会を始めさせていただきます。

最初に本日の進め方について説明いたします。

（事務局）

今回の審査は事前に書類審査をお願いいたしました。審査基準にしたがって審査をしていただきましたので、プレゼンテーションの後、その集計をもとに審査と総評をしていただきたいと思います。審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。推進委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

本日は5団体にプレゼンテーションをしてもらいます。審査は15分間で、まず最初に3分間で申請概要説明をしていただき、残りの12分間で審査員に質疑をしていただきます。その間審査員以外の方には傍聴していただきます。

プレゼン終了後の20:10から皆さんで討議をいたします。事前に記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考に一件ずつ採択、不採択、修正の確認及び決定をしていただきます。

各事業とも30点が満点で、合格基準点が18点となっております。特に18点に満たない事業について討議していただきたいと思います。

それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 余子自主防災会

- ・申請事業 余子自主防災活動
- ・事業内容 余子地区住民を対象に、地区全体および各自治会での講演会、防災マップづくり、防災訓練の実施、防災 PR 活動を行う。自主的な防災活動を行うことで災害発生時の被害防止や軽減を図る。

(委員)

購入される物の中に訓練用消火器が入っていて消防署から借りることが可能なので別のものが買えるのではないかと思います。

(余子自主防災会)

身近に置いておいて研修会に持って行って使用することもできるし、できるだけ自分たちでやりたいという思いもあります。

(委員)

どういう災害を想定されていますか。

(余子自主防災会)

津波から入っていき、あらゆる災害について対象としたいと思っています。

(委員)

境港だと雪害が大きいと思います。

(余子自主防災会)

市の方から発電機等公民館に配備されているが、まずは始めるにあたり必需品を買いそろえたいということです。

(委員)

2000 世帯とあるのですが竹内団地は入っていますか。

(余子自主防災会)

竹内団地は自治会に入っていないので含まれていません。自治会に入っている方を対象にしています。

(委員)

役員に入っている人たちは実際災害が起こった時には現場に出ないといけなくなる人が多いようですね。

(余子自主防災会)

確かにそうです。災害が起こった時の優先順位なども話し合っています。評議員として各世帯から参加してもらい、総会なども出してもらうようにするつもりです。また、各家庭を回って状況の把握をしておくことも考えています。

(委員)

3つの町をまとめて1つの防災会を立ち上げるのは大変だったと思います。

各町内に防災会や炊き出し道具などはあるんですか。

(余子自主防災会)

あります。組織が大きいので、できることは町内でやっていただき、地区に下ろすことは下ろしてもらうという感じにしていけないと思っています。

(委員)

年間活動費がなしとなっていますが、この活動をしようと思うと大変だと思います。この補助金をもらって終わりではなくどんどん活動を広げていただきたいので、今後も補助金を活用してもらうためにも検討していただけたらと思います。

(余子自主防災会)

平成 25 年度は各世帯からいくらかでも協力してもらえるように、自治会の方で調整をしてもらっているところです。

(委員)

見本となるような会を立ち上げてもらいたいと思います。

(地域振興課長)

この補助金というのは活動を活発にしていくためのものですので、事業内容にあるように啓発活動などはどんどん行ってほしいと思います。

◇2 団体目 なでしこ 5

- ・申請事業 子育て支援活動（ブックスタートプラス、地域子育て支援センター行事）
- ・事業内容 ブックスタートプラスや「ひまわり」等の支援センター行事を手伝うなかで地域の子育て中の家族の支援をする。この活動を行うに当たり揃いのエプロンや広報用のチラシを作成する。

(委員)

名札作成ですが、パソコンで作ってしまえばほかのものも買えるようになると思います。

(なでしこ 5)

技術がないものでして。

(委員)

チラシ 20 枚で 1 万円とありますが、どういうものですか。

(なでしこ 5)

業者に私たちの活動が一目でわかってもらえるようなものを作ってもら予定です。

(委員)

業者におまかせですか。

(なでしこ 5)

はい。作るときは内容の確認をします。

(委員)

エプロンは既製品のままでいいですか。

(なでしこ 5)

はい。私たちとわかるように名札をつけようと思っています。

(委員)

年間活動費が 0 円ですが、補助金が出たらそのお金で活動しようということですか。

(なでしこ 5)

はい。今は名札なども簡単なものなので活動を広げるために揃いのエプロンや名札をそろえた方が、より親しみと安心を感じてもらえるのではと思いました。

(委員)

今の活動はお手伝いのようなものだと思いますが、自主的な活動の立ち上げを考えていただきたい。そして活動を広げていってもらいたいです。今回道具をそろえて終わりではさみしいです。

(地域振興課長)

活動の回数を増やしていただけたらと思います。

◇3 団体目 境婦人会

・申請事業 踊りボランティア

・事業内容 地元になんだ民謡踊りの継承と普及を図るため、地域行事への参加や施設への慰問で鬼太郎音頭やさんこ節などを披露する。活動を広げるためゆかたを揃える。

(委員)

踊りボランティアの人数はどのくらいですか。

(境婦人会)

踊れる人は 36 人くらいで、ボランティアとしてでるのは 20 人くらいです。

(委員)

浴衣の購入先が地元でできなかったのかなと思いました。

(境婦人会)

カタログや踊りの先生から紹介されて選びました。

(委員)

特別会計とはどのような会計ですか。自己負担金が 9 万円で本会計をみると予備費も 5 万円くらいですし。

(境婦人会)

本会計とは別のところから借りるという形をとり、踊りの報酬などで 2, 3 年かけて返していく予定です。

(委員)

踊りはだんだん人が減っていく傾向ですが、伝承していかないといけないこともあるので、会員を増やす努力をしていただければと思います。

(地域振興課長)

会員や活動回数を増やし、活動を広げてもらいたいと思います。

◇4 団体目 元気みなと商店街

・申請事業 元気みなと商店街

・事業内容 旧銀座通り商店街の賑わいを取り戻すため月1回の朝市を開催する。年間通して活動ができるように空調設備を整備する。

(委員)

店舗の使用契約は何年ですか。エアコンつけても契約が切れて出ていかないといけなくなることを心配しているのですが。

(元気みなと商店街)

1年単位で更新となっています。貸主さんもまちづくりで活用してもらえるのならと協力してくれています。また空いている店舗を使ってもらえていると喜んでいただいていると聞いています。

(委員)

PRはどのようなことをされていますか。

(元気みなと商店街)

新聞の折り込み広告や朝市の周辺にポスターを貼ったりしています。

(委員)

チラシ代も計上されていますがもっと宣伝効果を上げることができたらよいですね。

(元気みなと商店街)

近所の人だけじゃなくて、遠くの人にも来てもらえるようになればいいと思っています。

(委員)

大変な活動だけでも絶対必要なものだと思います。決算を見ても厳しい状況だと思いますがメンバーも精力的に活動されているようですし、良い状況が作られているんだろうと思います。

(元気みなと商店街)

朝市をしていて楽しいんですよ。楽しいから続けられているんです。

(委員)

今後もこの補助金を活用して広報などしていただきながら、発展させてもらえたらと思います。

(地域振興課長)

この補助金を使って活動を活発にし、賑わいを創出していただけたらと思います。また今後は宣伝活動などのソフト事業に使っていただけたらと思います。

◇5 団体目 水木しげるロードの安心・安全を守る会

・申請事業 水木しげるロードの安心・安全を守る会

・事業内容 水木しげるロードおよび周辺地域の生活者や事業者で、安全パトロールや事業所等へ啓蒙チラシの配布を行う。

(委員)

団体や組合の加入はありますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

現在会員は 10 組です。個人と水木ロードに面した自治会が 3 自治会、商店会が 2 か所です。

(委員)

夜間パトロールは毎日されているんですか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

いえ。毎日ではなく不定期で行っています。

(委員)

平成 23 年度の事業報告を見ると夜間パトロールは 3 月 21 日だけしか書かれていないのですが。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

会の設立が 7 月 26 日で、実際に活動開始できたのが 12 月なんです。パトロールができたのが 3 月です。期間が短かったので実績として 1 回となっています。

(委員)

今は実施されているんですね。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

7 月 28 日、8 月 18 日、9 月 28 日に行いました。

(委員)

今年度になってほかの活動はされていますか。

(水木しげるロードの安心・安全を守る会)

会議を除くと夜間パトロールだけです。ほかに警察署からの要請があれば参加しています。

(委員)

要請分も活動実績に入れてもらっていいと思います。

(委員)

活動の様子は新聞にも出てますね。

会員名簿に載っている方以外にも参加団体があるようで、大勢でやる方が効果もあるでしょうからさらに活動を広げてもらえたらと思います。

(委員)

実働人員が増えるように回覧板のようなものを発行してみられてもいいかなと思います。

自分たちが自分たちのまちを守らなければならないという意識が生まれるんじゃないか

なと思います。

<プレゼンテーション終了>

(事務局)

事前に採点していただいた審査表の集計をお配りしました。みなさんどの団体も合格基準点の18点を超えています、プレゼンを聞いての意見もあると思います。それらを含めて審査していただけたらと思います。

(会長)

それでは一団体ずつみなさまのご意見をいただければと思います。まずは「余子自主防災会」から意見ををお願いします。

(委員)

メンバーに保育所と幼稚園が抜けている。東北の災害をみても大事な部分だと思うので、それがあるとなお良いと思います。

(委員)

こういう活動は今大事なことです。我々も応援してがんばってもらえれば良いと思います。

(委員)

リーダー名簿をみるとほとんど男性で、女性が少なく感じます。保育所が入ると違ってくるかもしれませんが。

(委員)

これから色々と検討されるんですが、女性の目から見た問題点も重要なので入れていけないといけないと思います。

(委員)

余子地区はすごく広いので、やはり各自治会でやらないといけないことも多いと思います。

(会長)

会を立ち上げられたばかりなので、今後の運営で変更は行われるでしょうから今は応援して、見ていきましょう。

<採択>

(会長)

続いて、なでしこ5に移りたいと思います。

人数が少ないのもあるのですが、お手伝いだけでなく自主的な活動をしてもらいたい。これから会員が増えていけばそういう活動もできると思いますが、会費がないと

いうところが心配な点です。自己資金があれば今後も補助金を活用してもらえますし。

(委員)

ファミリーサポートセンターとの係わりがあるのでしょうか。今は行政関係との活動と
いうことですが、地区に入って活動してもらえたらなという気持ちがありますので、連携
を取ってほしいなと感じます。

(委員)

ほかの支援団体と連携を取りながら、自分たち独自の活躍ができればいいと思います。

<採択>

(会長)

次に、境婦人会に移りましょう。

(委員)

質疑の時にもでしたが、会員数 200 人に対し、踊りボランティアが 20 人と 1 割程度な
のでメンバーを増やす努力をしてほしいですね。

(委員)

浴衣をそろえて踊りを見てもらえば興味を持つ人も出てくるかもしれません。

(委員)

やはり地元の業者を活用してほしいです。

(会長)

色んなつながりもあるでしょうし、強制もできませんが要望として地元の業者の活用を
検討してもらえればと思います。

<採択>

(会長)

次は、元気みなと商店街です。苦しいながらも頑張って活動されています。

(委員)

店もなくなってきた、朝市を利用されている人も増えてきてますね。

(委員)

御用聞き事業を始めようかと言ってましたが、ぜひやってほしいですし、全市に広がっ
てほしいです。

(会長)

寂れた場所をもう一度復活させようと、新しい試みがなされています。将来的にどう発
展していくのか楽しいなグループです。

(委員)

ここまで来るのは大変だったと思います。最初は人がいなかったけどだんだん人がついてきていますし。

(委員)

水木ロードからちょっとの場所ですし、観光客を呼び込むためにも記念館前などで PR していけばまた違ってくるんじゃないかと感じました。

<採択>

(会長)

最後に水木しげるロードの安心・安全を守る会です。

パトロールの回数は少ないですが、いろんなイベントには参加していますね。

(委員)

チラシを貼るだけでなく地域住民ががんばらないとだめ。チラシができたので貼ってくださいというのは簡単なことなので活動の肉づけをしてほしいです。

(委員)

もう少し活動の活性化をお願いしたい。チラシを作って貼ってもらう、夜間パトロールしか自主的活動がないですし。

(委員)

自治会や商店街と連携した活動を検討していただきたいですね。

<採択>

(事務局)

平成 25 年度からの市民活動推進補助金の要綱の改正を事務局で検討しています。4 点ありましてみなさんのご意見をいただければと思います。

1 点目は、他の補助金との併用を認めるというものです。今は不可としているのですが、県の補助金は併用を認めており、境港市の補助金にも取り入れられたらと思っています。

2 点目は、見積りの添付を省略するということです。これも県の補助金では強制していません。見積り書を取ってもらうものは取ってもらうのですが、実績報告で領収書が出てきますし、細かい部分まで揃っていなくてもいいのではと思っています。ただし申請書には何を買うのか細かく記入してもらうようにします。

3 点目は、補助金の対象団体についてです。今は市民活動団体のみですが、民間の会社でも活動として市民活動をしているところもあります。会社の利益のあるものと切り離している活動については認めてよいのではと思っています。

4 点目は、新規設立事業は 10/10 で補助をしているのですが、事業によっては 10 万円足りないものもあるかと思っています。その場合、補助率 2/3 で 30 万円までの一般事

業も選択ができるようにしたいと思っています。今の要綱でも選択できると読み取れるのですが、明記をしたいというところです。

(委員)

見積書の添付は必要だと思います。詳細を書くにしても見積書がないと書けませんし、審査する方も何を買って何をしたいのかが見えないと審査もできませんし。

(事務局)

額の大きいものに対しては見積もりを取ってもらわないといけないですが、コピー代等細かいものについては添付しなくてもいいのではないかと考えています。

(委員)

たとえば1000円以下のものはとか金額で区切ってもいいかもしれません。

(地域振興課長)

手引きの中に金額での区切りについて加えるなどの検討させてください。

(事務局)

あとの3点については何かございますでしょうか。

(委員)

特にありません。

(事務局)

では、ご意見を踏まえて要綱の案を作りますので次の会議でご検討いただきたいと思います。

<閉会>